

平成31年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124170	イーハトーブ花巻応援寄附金推進事業費
総合計画	分野	05	行政経営	政策	02 持続可能で健全な財政経営
	施策	02	自主財源の確保		
目的	自主財源の確保と市の地場産品のPR・受注拡大を図るため、ふるさと納税制度を推進するとともに、寄附受入れに係る事務処理を行う。				
対象	イーハトーブ花巻応援寄附金寄附者				
意図	寄附額が増加し、花巻市の知名度が向上する。				
事業概要	寄附者への返礼品贈呈 183,839千円 花巻市の地場産品等を寄附者へ記念品として贈呈  寄附手続 70,262千円 ワンストップ特例申請に係る事務処理  ふるさと納税取扱事務の外部委託 24,478千円 受領証明書の発送や記念品発送の取りまとめ事務等を外部委託				
市民参加の有無	対象外				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成			委託
活動指標		単位	区分	H30	H31
1	PR回数	回	計画	10.00	10.00
			実績	9.00	10.00
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	H30	H31
1	寄付人数	人	目標	16,000.00	16,000.00
			実績	12,672.00	30,976.00
2	寄付金額	千円	目標	200,000.0	250,000.0
			実績	190,278.0	609,243.0
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度			目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
「ふるさとチョイス」、「楽天ふるさと納税」の2つのポータルサイトを活用し、受付窓口の複数化により寄附者の目に触れる頻度を増やし、メールマガジンや広告の活用による効果的なPRに注力した。また、ポータルサイト内に掲載している返礼品の写真や紹介文のブラッシュアップを行い、寄附につなげた。また、「ふるさとチョイス」の契約プランを変更したことにより、ポータルサイト上の露出が増えたことや、高所得者層へのPR、寄附者と直接接することのできるファンミーティングの開催等により、前年度寄附実績より寄附人数・寄附金額とも増加した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	ふるさと納税制度は所得税及び住民税からの寄附金控除の仕組みを利用した、大都市圏から地方への還流を促す制度であり、行政が関与することが妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	PR活動の強化による花巻市の知名度向上の取り組みや、記念品の充実を一層図ることにより、寄附件数及び寄附金額の一層の増が見込まれる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費については、寄附件数に応じた規模の範囲内での事業実施となり、削減余地はない。人件費についても、寄附件数に対して、現行の人数が適正規模であることから、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	他自治体の実施状況や総務省通知の内容に基づき、適正な範囲で実施している。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	寄附額を向上させるため、2つのポータルサイトを活用し、受付窓口の複数化やメールマガジンや広告の活用による効果的なPRに注力することにより、寄附者の目に触れる頻度を増やし寄附人数が前年度より増加した。また、ポータルサイト内に掲載している返礼品の写真や紹介文のブラッシュアップを行ったことにより、寄附金額も前年度より増加した。
	次年度に向けて	引き続き、効果的なPRを行うため、返礼品の紹介ページ等の充実を図る。